

高齢者虐待を防ぎましょう

☹️ 高齢者虐待とは？？

家族(介護者)など身近な人から不適切な扱いをされて、高齢者の心身の健康が損なわれている状態のことをいいます。

高齢者虐待には、様々な種類があります。

身体的虐待

たたく、つねる、殴る、蹴るなどの暴力
動かないように縛る など

心理的虐待

怒鳴ったり、ののしったりなどの言葉の暴力
無視して口をきかない など

性的虐待

同意のない性的接触や嫌がらせ
罰として裸にする など

経済的虐待

必要な金銭を渡さない、使わせない
高齢者の年金や預貯金を勝手に使う など

介護 世話の放棄 放任

必要な食事、入浴や排泄などの世話をしない
必要な治療を受けさせない など



☹️ 高齢者虐待はなぜ起こるのか？？

高齢者虐待は、介護の負担や家族の病気、家庭の経済状況の変化、人間関係、社会環境など様々な要因が重なり合って発生します。表面上の行為のみにとらわれず、背景ある様々な要因を探り、状況を正確に把握することが大切です。

(虐待が起きる要因)

虐待者の性格
虐待者と高齢者本人のこれまでの人間関係
高齢者本人の性格
虐待者の介護疲れ
高齢者本人の認知症による言動の混乱
高齢者本人の自立度の低さや排泄介助の困難さ
配偶者や家族・親族の無関心
経済的困窮

など



☹️ 虐待は無意識に行われることも！！

「高齢者虐待」は、虐待をしている人に自覚があるとは限りません。高齢者が危険な状態におちいっても、虐待の自覚のないことが多いのも特徴です。

気づかず不適切な対応になりやすい事例について、次のリストでチェックしてみましょう。

言うことを聞かないので、無視したり、逆にののしってしまう。
良いことと悪いことを分かってもらうために、叩くなどしている。
認知症により徘徊するので、部屋に閉じこめている。
認知症やねたきりで外聞が悪いので、外出させなかったり、訪ねてくる人がいても合わせないようにしている。
年金手帳、預金通帳などを管理し、本人に無断で使っている。
人前でおむつを替えたり、しばらく裸のままにしておくことがある。

☹️ 「気づき」が虐待の深刻化を防ぎます。

「高齢者虐待」は身近に起こりうる問題です。あなたの発見により、虐待の深刻化を防ぐことが出来ます。こんなことが「気づき」のきっかけです。

- ・ 最近外出が少なくなった高齢者はいませんか。
- ・ 身体に傷やあざを見つけることはありませんか。
- ・ 自宅から怒鳴り声や悲鳴、物を投げる音が聞こえてきませんか。
- ・ 最近愚痴をこぼしたり、話をしたからなくなった高齢者はいませんか。
- ・ 衣服の汚れや異臭が目立っていませんか。
- ・ 介護に疲れ、悩んでいる様子の家族はいませんか。
- ・ 他人に会うのを嫌がったり、サービスを拒否する家族や高齢者はいませんか。

虐待に気づいたときは、一人で抱え込んだり、悩んだりせず、大阪狭山市地域包括支援センターなどの専門機関、大阪狭山市役所の相談機関などに相談しましょう。

(ご相談者のプライバシーを守ります。)

大阪狭山市 地域包括支援センター	所在地 〒589-0005 大阪狭山市狭山1丁目 862-5 (電話) 072-368-9922 (FAX) 072-368-9933
くみのき苑 在宅介護支援センター	所在地 〒589-0012 大阪狭山市東菜莢木4丁目 1977 (電話) 072-367-9550 (FAX) 072-368-2727
さやまの里 在宅介護支援センター	所在地 〒589-0032 大阪府大阪狭山市岩室2丁目 185-11 (電話) 072-367-1828 (FAX) 072-367-1836
大阪狭山市役所 高齢介護グループ	所在地 〒589-8501 大阪狭山市狭山1丁目 2384-1 (電話) 072-366-0011 (FAX) 072-366-9696